

平成30年 9月20日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部

「もんじゅ」燃料体取出し作業状況のお知らせ（続報）

9月19日（水）、16体目の燃料体取出し作業を実施中、地下台車にある模擬燃料集合体を炉外燃料貯蔵槽（EVST）へ移送するために燃料出入機 本体 A のグリッパで模擬燃料体のつかみ操作を実施したところ、15時50分頃に「本体 A グリッパつかみ・はなし異常」警報が発報し、15時51分にリセットしました。

この警報発報に対し、燃料検査槽において当該グリッパの動作確認を実施して円滑に動作することが確認できたことから、改めて当該グリッパで模擬燃料集合体のつかみ操作を実施したところ、23時35分頃、再度、同じ警報が発報しました。

23時37分頃に警報はリセットしましたが、当該グリッパの動作回復に時間を要することから、16体目の燃料体取出し作業を中断しました。

当該グリッパに、設備上の異常があるものではなく、微量のナトリウムが付着したことによるものと推定しており、本日、炉外燃料貯蔵槽内の加熱されたナトリウムに当該グリッパを浸漬させて付着したナトリウムを取り除いた後、動作確認を実施しました。

動作確認の結果、加熱されたナトリウムへの浸漬だけでは付着したナトリウムを除去しきれなかったと判断し、当該グリッパを洗浄することにしました。洗浄後、改めて動作確認を実施した上で、燃料体取出し作業を再開します。

その他、環境への影響はありません。

以上